



ながとろきょういく

回 覧

秋晴の候、町民の皆様におかれましては、日頃より長瀬町教育委員会及び長瀬町立小・中学校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。令和3年度の長瀬町教育委員会便り「ながとろきょういく」を発行します。長瀬町の教育について広くお知らせするとともに、各学校の取組をみなさまに紹介させていただきます。今後ともよろしくお願ひします。

長瀬町教育委員会教育長 野 口 清

【GIGAスクール構想について町内の取組状況等】

文部科学省が全国的に進めているGIGAスクール構想に基づき、町内の小中学校において全児童生徒用の学習用端末の整備を昨年度末に完了しました。本町では、児童生徒にとって学習意欲を高める授業を実践することを目標とし、教職員の授業の質の向上と児童生徒の確かな学力の定着を図ります。

具体的には、今年3月末から随時教員研修を行ったり、指導者用デジタル教科書の導入を行ったりしています。以下、各校の取組状況をご覧ください。

長瀬中学校の取組

中学校では、タブレットを使用することによって、最大限の教育効果が発揮できるよう各教科で創意工夫をしながら活用しています。最初は物珍しようにタブレットを扱っていましたが、今は意欲的かつ主体的にタブレットを活用した授業に取り組んでいます。ここでは、各教科の活用方法の一部を紹介させていただきます。

◎英語科

英語科では、教科書に掲載されているQRコードをタブレットで読み取って、タブレットの画面に表示された課題を自分のペースで取り組んでいます。タブレットを活用することによって、個に応じた学習と指導が展開できるようになりました。

◎保健体育科

保健体育科では、ダンスや跳び箱運動、柔道等の授業で、互いの演技をタブレットで撮影して、グループでその動画を見て、アドバイスを送り、相互に技能を高め合っています。「主体的で対話的な深い学び」を目指した授業が実現できています。

◎社会科

社会科では、タブレットでグーグルアカウントのクラスルームを活用して授業を展開しています。お互いの考えを教室のテレビ画面ですばやく知る事ができるので効率よく社会科の事象を学べます。

◎美術科

美術科では、作品制作の参考写真の撮影、資料収集等に使用しています。根拠を持ち、自己の学びを深めることを目指しています。



長瀬第一小学校の取組

長瀬第一小学校では、昨年度末に、整備していただいた一人一台端末(タブレット)と校内無線LAN環境を効果的に活用するため、「情報収集と情報活用ができる児童の育成」～ICT機器を効果的に活用した授業の工夫～を本年の研究主題に掲げ、年度当初より研究を進めてまいりました。

以下、タブレットを活用した授業の一例です。



【教職員】校内研修

- ・国語科…ワープロソフトを活用し、文章の校正を繰り返し行う。
- ・理科…実験や観察の様子をタブレットで記録する。
- ・図工科…描写対象の記録や作品の鑑賞に活用する。
- ・総合的な学習の時間…調べ学習や発表に活用する。
- ・その他…連絡帳に書く内容をタブレットで伝える。学級でのアンケートをタブレットで行い、結果をグラフで示す。

今後も、ICT機器を効果的に活用した「個別最適化した学び」の実現に向け研究を進めてまいります。



【3年】総合的な学習の時間



【4年】図工科



【6年】総合的な学習の時間

長瀬第二小学校の取組

長瀬第二小学校では、1年生～6年生が授業の内容に合わせて、以下のような場面でタブレットを活用し、学習しました。

- ・国語の授業で音読の様子を撮影
- ・総合的な学習の時間に調べ学習
- ・社会科で地図を見て気づいたことの共有
- ・理科の実験や観察の様子を記録
- ・ローマ字の学習
- ・生活科の観察記録
- ・児童朝会をオンラインで実施

また、定期的に職員を対象にした研修を行い、タブレットやアプリの授業における活用方法について共有しました。今後も研修を継続し、授業の目標、子供たちの実態に合わせた活用を検討していきたいと思っております。

